

第3回学術総会 化学生物総合管理学会

企画テーマ：食品安全と化学物質管理のアナロジー
～どこが同じでどこが違うかを検証する～

日時：10月6日(金) 9:20～18:20

会場：日本科学未来館 7階 会議室2
(東京都江東区青海2-41)

新交通ゆりかもめ「船の科学館駅」下車、徒歩5分
「テレコムセンター駅」下車、徒歩4分

《開催案内》

化学生物総合管理は全てのセクターが主体者である。しかも、今や国際的な流れを無視しては議論出来ない。国内外の動きを捉えつつ私たちの採るべき方策を考える必要がある。内外の動向に詳しい方々から最新の状況や論調を披露していただく学術総会を開催する。

一般学術発表のほか今年の企画テーマとして「食品安全と化学物質管理のアナロジー～どこが同じでどこが違うかを検証する～」を設定した。そして「北里柴三郎の人と業績」(北里一郎明治製菓最高顧問)、「農薬と食:安全と安心」(梅津憲治日本農薬学会会長)の講演を行う。

★参加料:無料[事前登録制]

(但し、会員外の方は資料実費 1,000 円負担)

★学会の会員以外の方も参加登録可能

参加希望の方は、①参加者氏名、②所属(勤務先など)③終了後の意見交換会の出欠(会員、会員外とも 3,000 円)を明記のうえ、E-mailにて学会事務局にご連絡ください。(または同内容を FAX にて)

後日、参加証を送ります。

E-mail:cb-jim@cbims.net FAX:03-5978-5096

特定非営利活動法人 化学生物総合管理学会

TEL:03-5978-5018

第3回学術総会 プログラム

化学生物総合管理学会

(受付開始 8:50～)

(敬称略)

9:20	開会	
【講演】※		
9:30～10:30	北里柴三郎の人と業績	北里 一郎 明治製菓株式会社最高顧問
【一般学術発表】		
10:30～11:00	技術戦略マップの策定と活用 -産学官による技術ロードマップ・コミュニケーション-	渡邊 政嘉 経産省産業技術環境局研究開発課
11:00～11:30	化学物質総合評価管理分野の技術戦略マップ	池上 敬一 経産省産業技術環境局研究開発課
11:30～11:40	<休憩>	
11:40～12:10	国際的な化学物質管理のための戦略的アプローチ (SAICM)に関する調査	高橋 俊彦 お茶の水女子大学ライフワールド・ウォッチセンター
12:10～12:40	化学物質等に関連するILO条約と日本の対応	雫 文男 東京大学大学院理学系環境安全管理室
12:40～13:10	化学物質管理法制の国際調和について	星川 欣孝 お茶の水女子大学ライフワールド・ウォッチセンター
13:55	午後の部開始	
【講演】		
14:00～15:00	農薬と食：安全と安心 -食の安全性を科学として考える-	梅津 憲治 日本農薬学会会長
【企画テーマ】	食品安全と化学物質管理のアナロジー -どこが同じでどこが違うかを検証する-	
15:00～15:30	残留農薬基準等ポジティブリスト制度の導入 -運用におけるリスクアセスメントの役割	武居 綾子 (有)イカルス・ジャパン
15:30～16:00	製パンにおける臭素酸カリウムの安全使用について	山田 雄司 山崎製パン(株)
16:00～16:10	<休憩>	
16:10～16:40	食品香料のリスク評価 -国内外の動向について-	岡村 弘之 長谷川香料(株)
16:40～17:10	いわゆる健康食品の安全性確保のためのフレームワーク	末木 一夫 NNFAジャパン
17:10～17:20	特定テーマの総括	
【一般学術発表】		
17:20～17:50	企業の社会的責任と社会的責任投資 -高まる企業評価へのニーズと化学物質総合評価-	宮崎 幸恵 (株)グッドバンカー
17:50～18:20	化学物質総合管理に関する企業行動の評価 -評価結果の概要-	窪田 清宏 (財)化学物質評価研究機構
18:20	閉会	
18:30～19:40	意見交換会(会費制)	

(演題名、発表者、時間は変更になる場合があります)

※この講演はお茶の水女子大学ライフワールド・ウォッチセンター お茶の水学術サロン講演会との共催講演です。